



audio

DISCOURSE

DEQX HDP-3 プリアンプ/プロセッサとマランツの MM8003 パワーアンプを使った、
レジェンドアコースティックの Tikandi スピーカー。

by Adam Goldfine



- DEQX は今まで試聴した中でそのレビューが最も難しい製品であった。それは逆転とまではいかずとも DEQX は従来のオーディオの常識を根本から変えるほどの内容を持っていたからである。
- DEQX の価値と本質を理解するにはハイエンドオーディオの最大の問題点が部屋にあるという事実を認識することである。もちろん、このことは従来から理解されていて音響的な意味を持つ様々な製品や、壁面の処理、低域用の吸音トラップなどが存在するが、問題の解決には程遠いものである。
- 部屋の次に大きな問題はスピーカーシステムの非直線性である。周波数毎に異なる到達時間の差が音の生命を殺し、音のフォーカスを甘くしている現実である。
- これらの問題点を解決せずに多くのオーディオ愛好家は「より良いケーブル」や「よりよい機器」に走るのが常だが、これでは解決の対象がなにであるのかも分からずに対処しているようなものである。
- ならば、トーンコントロールやパラメトリックイコライザーではだめなのか？ 過去に Cello からイコライザー付きのプリアンプ(\$6,500 の製品)が出ていた。それなりに良いものであったがこの製品が世の中を変える事はなかった。

- ・ ところが、ここにきてデジタルシグナルプロセッサが登場し、これが部屋とスピーカーの問題点を解決することになったのである。
- ・ 私のスピーカーは YG Accoustic 製で、かなり高価なものだが、既に DEQX なしの音は納得出来ない事を実感している。DEQX を使う前はそれほどの問題を感じてはいなかったが DEQX を入れることで、人工的なベールが剥がれ落ち、音に余裕が生まれ、音楽の流れが改善された。これらの音の改善効果を前にすると DEQX 製品のコストはまったく考慮に値しないほど安価であると感じる。
- ・ 従来から、ピュアオーディオの世界には音質補正のための EQ(イコライザー)に否定的な論調があった。しかし、DEQX を知った今、多くのオーディオファイルに新しい音の世界に向かって欲しいと言いたい。現在使用しているアンプやスピーカーから良い音を引き出す最も有効で現実的な手段は DEQX を使うことである。



< Marantz MM8003 Amplifier >



< Legend Acoustics Tikandi Speaker System >

長文のレビューを大阪の T 氏が意識してくれました。ありがとうございました。

このレポートの文責は Kurizz-Labo にあります。

2011/10/17 Kurizz-Labo 栗原信義